

イシガレイの採集場所が例年と異なる

■水門付近に見られる泥の堆積

今回の調査では河口、水門付近でイシガレイを採集することができたが、採集場所がこれまでと異なった (Table.1 Fig.3 4)。これまででは導流堤 (Fig.1) の①②の水門付近で多くのイシガレイが採集された。しかし、今回の調査では①②の部分に泥の堆積が見られた (Fig.2 コントラストを上げ、泥と砂地の違いを見やすくしてある)。これまでの調査で、イシガレイは砂地を好み、泥地では採集されない。今回の調査でも、①②では採集できなかった。③④は砂地であり、こちらで採集することができた。



(Fig.1 導流堤と水門)

全長(cm)	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	平均(cm)
河口(匹)	3	1	1	0	1	0	2.1
水門付近(匹)	1	0	1	0	1	1	3.4

(Table.1 イシガレイの全長と採集数)



(Fig.2 Fig.1の①付近 茶色の部分が泥)



(Fig.3 水門付近で採集したイシガレイ)

■ひれの一部を失ったイシガレイ

Fig.1の③で尾びれ、背びれ・しりびれの後半を失ったイシガレイを採集した (Fig.5)。捕食者から辛くも逃げ延びた個体と思われる。通常の個体と比べると色素が多い。ひれを失ったことで、日齢に見合った全長に成長できなかったが、色素は日齢に応じた発達をしたのかもしれない。



(Fig.5 一部のひれを失ったイシガレイ)



(Fig.4 河口で採集したイシガレイ)